

令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	神崎市立神崎小学校	担当者名	大坪みゆき 永原智子
住所	郵便番号 842-0006 神崎市神崎町枝ヶ里 349	電話番号	0952-52-4175

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I. 取組前の宣言内容

宣言	目標	読書でつながるせんだんの子 ～図書館ってわくわく！読んで！見つけて！楽しんで！～
	取組期間	令和3年4月6日 ～ 令和3年11月30日

※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

II. 取組後の評価

評価	取組人数	621人	実施日数	137日	読書冊数	140157冊	連携した団体数	3団体
	取組内容（概要）	<p>(1) 本にふれる取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会による図書館祭り・イベント ・ファミリー読書 ペアペアカード ・放送委員会・図書クラブによるおすすめの本紹介 ・校長先生のおすすめの本クイズ ・季節の本の読み聞かせ ・縦割り遊び（読み聞かせ） <p>(2) 本を読むことを中心とした取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読書の記録」「おすすめ50選」の活用 ・多読者へのプレゼント ・みつば賞 <p>(3) 地域との連携した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日の朝の時間に地域のボランティアグループ「おひさま」による読み語りを主に低学年で実施した。また、秋の図書館祭りでは1, 2年生を対象に読み語りとクイズのイベントを行ってもらった。 						
	工夫したこと	<p>(1) 本にふれる取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中々図書館に足の向かない児童にも図書館に足を運びたいようになるように、図書館祭りでは、読書ウォークラリー〔写真1〕、スタンプラリー、ぬりえ、図書委員会によるイベント（本探し〔写真2〕・辞書引き〔写真3〕）を行った。応募者多数だったため開催日を増やした。また、春の図書館祭りでスタンプを全部集め、応募した児童の中から抽選で臨時図書委員を起用し、秋の図書館祭りで貸し出し業務の体験活動を行った。〔写真4〕友達が貸し出しをする姿を見て秋の図書館祭りでは自分も応募したいという意見がたくさん聞かれた。秋の図書館祭りも連日3分の2以上の参加があり盛況だった。 ・親子読書（ペアペアカード）にも取り組んだ。保護者の感想からも、時間 						

	<p>を設けて親子で読書をする事ができたようで毎回好評だった。〔写真5〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなジャンルの本に目を向けるために、放送委員会（給食時放送）・図書クラブの児童による「おすすめの本」紹介を行い、(POP 掲示〔写真6〕) いろいろなジャンルの本を紹介した。 ・児童の興味を引くために、校長先生のおすすめの本クイズを出題し、図書室に候補作3冊を展示した。校長先生の感想をヒントにおすすめの本を探すため、実際に手に取って読み比べられるように本を置いた。〔写真7〕 ・図書館に来た児童が「七夕って何ですか？」と質問したことから給食の時間を利用して「七夕」の本の読み聞かせを行った。また、2回行われた縦割り遊びの中で1回は読み聞かせの回があり、リーダーの読み聞かせにたくさんの児童の拍手がありとても和やかな時間になった。〔写真8〕 <p>(2) 本を読むことを中心とした取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読書の記録」「おすすめ50選」〔写真9〕、多読者へのプレゼントやみつば賞を活用して読書の推進を行っている。 ・各クラスの図書室利用の時間に前半・後半と時間を区切って利用してもらうことで休み時間の混雑をできるだけ回避し、また、密の時には入場を制限して密の状態を作らないようにした。 <p>(3) 地域との連携した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み語りでは、密にならないように人数制限をして開催した。〔写真10〕
<p>取り組んだ感想</p>	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため密を避けるなど、図書館利用についても、図書館祭りなどのイベントの開催についても難しい状況となりました。しかし、今の実情を踏まえた上で、黙食でクイズができないなら「おすすめの本」を放送しよう、読み聞かせもできる、というように本に関する話題を提供し、図書館に足を運んでもらうきっかけを作ってきました。子どもたちは、毎朝図書館が開く前から静かに1列で開館を待っています。読み語りの後、読み語りの方に「その本は神埼小の図書館にもありますか？」と聞きに行ったり、「今日はこの本を借りてきたよ。」と笑顔で話したり、せんだんの子たちは読書が大好きです。今回「スクール読書チャレンジ運動」に参加してテーマをもって活動できたことで、少しでも子どもたちと読書、子どもたちと図書館をつなぐことができたのではないかと思います。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>今後は、12月8日にはTIOさんによる演奏と読み語りを計画しています。3学期には読書郵便への取り組みを予定しています。これからも読書活動を通してせんだんの子をつなぐ活動を充実させていきたいです。そして、「図書館に行くと何かが見つかる！！図書館って読書って楽しい」と思える図書館を実現していきたいです。</p>



縦割り遊び 縦割り班のリーダーによる読み聞かせ〔8〕



おすすめ50選〔9〕



(3) 地域との連携 図書館祭り期間中の昼休み1, 2年生を対象とした読み語り・クイズ〔10〕